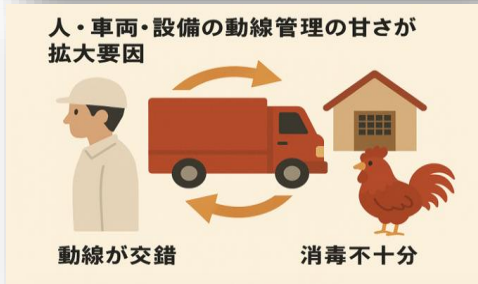


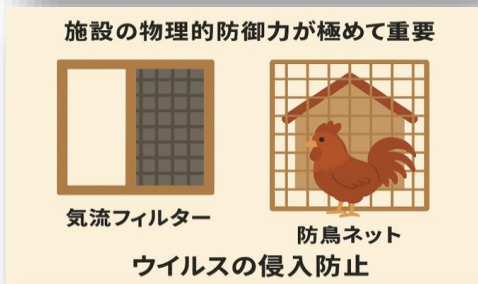
今シーズンの発生を踏まえた対策のポイント



- ・**渡り鳥**や周辺の**野生動物**がウイルスを持ち込み、糞便、水系、風によって農場に侵入する
- ・農場外の水たまり・池・周辺の雑草地などもリスクになる



- ・農場内外の行き来、飼養棟間の出入りなどが**ウイルス拡散の経路**になる
- ・消毒不十分、動線の交差、専用衣類の未徹底などがリスクを高める



- ・**防鳥ネット、気流フィルター、給気・排気**の**管理**がウイルスの侵入を防ぐ
- ・小さな隙間や老朽化した設備でも侵入リスクが高まるため、**日常点検**が不可欠



- ・高病原性鳥インフル等で多くの農場が示す**典型的症状**
- ・**異常が数値で現れる**ためモニタリング体制が早期発見へ



- ・異常を認知した段階で速やかに通報し、**隔離・封じ込め・殺処分・消毒等**を迅速に実施することが拡大防止に効果的

ご参考いただき、ご不明な点がございましたら当所へご照会ください。

京都府丹後家畜保健衛生所(京都府家畜畜産物衛生指導協会丹後支部)
TEL:0772-43-1125(休日・夜間転送) FAX:0772-43-1124